

AJU 愛実

第34号 会報

編集：特定非営利活動法人愛実の会

- ・愛実の会事務所
 - ・居宅介護事業所あみ
 - ・生活介護事業所障がい者デイセンター愛実
(大地の家／愛実友だちの家／紙風船)
- 定価：一部100円

「2つのテーブル」／島しづ子	・・・	P1
事務所より	・・・	P2
2015年度会計報告	・・・	P3
法人事業報告	・・・	P4
大地の家のページ	・・・	P5～7
イエローシート活動	・・・	P8
紙風船のページ	・・・	P9～11
「吉男の出番」／南 寿樹	・・・	P12
愛実の会・名古屋ダルクチャリティコンサート	・・・	P13
寄付者名簿	・・・	P14



紙風船



大地の家



2つのテーブル

理事長 島 しづ子

フランスのトロリーというパリから車で1時間ほどの街に「ラルシュの家」があります。今から52年前、ジャン・バニエと2人の青年（ラファエルとフィリップ）がそこで暮らし始めました。ラファエル達は病院で暮らしていました。バニエさんは海軍を辞めた後哲学教授になった人でした。30数才のバニエさんがカナダの大学を辞めて、その家を始めた理由は「彼らは病院ではないところで暮らした方がいいのではないか、彼らはそれを切望している」と考えたからでした。無謀な共同生活はトイレも家の外、水道も時々止まる、バニエさんは料理下手と悪条件ばかり。しかし、後に青年の1人は当時を思い出して「ジャンは何も作れないし、生活はめっちゃくちゃだった。でも僕らは『やったー！』という気持ちだった」と述懐しています。当初バニエさんは彼らのお世話をしてあげるという意識だったようですが、葛藤を重ね彼らが一番望んでいるのは対等な関係の「友だちになる」ことだと気が付きます。そればかりか共に暮らし始めると彼らの苦悩の深さ、苦悩による暴力などに、意識していなかった自分自身の苦悩と葛藤に苦しむようになりました。苦しみながらも大事なことは「仕事」ではなく、一緒に「食事」をすることだと意識されるようになりました。

小人数の暮らしの中で、メンバーが自己肯定して、人間らしい喜怒哀楽を示し、共にいることを喜ぶようになりました。彼らの様子が、多くの場所で共感を呼び、全世界にラルシュ・ホームが散在しています。私は娘が早逝しましたが、自分が先だったらこのような場所で生活してほしいと願ってきました。

ラルシュの在り方でバニエさんは「ラルシュはユートピアではない。苦しみも問題もある。それは当然の事。だから問題をごまかさず、いかに一緒にやっつけていか話し合うことが大事だ。」と言います。「もう顔も見たくない」というような関係で決裂してしまう私たちですが、「話し合う」とは議論ではなく、お互いに閉じこめている悲しみの声に耳を傾けることだと解釈しています。弱さを隠して壁を築くのではなく、傷つくことを恐れなくて共にいるというのは冒険とも言えます。

6月末にトロリーを訪問し、大地の家メンバーとよく似た方々の「森の家」で昼食を頂きました。大きなテーブルにメンバーが6人、同じくアシスタントも6人ぐらい席についていました。衝立の向こうに、もう一つの小テーブルがありました。覗くと気難しそうな年配の方とアシスタントがいました。

小さな歌を歌って食事開始。ほとんどの方がミキサー食でした。前菜（名前は知らないけど美味しかった）副菜、主菜、デザートと進み、責任者が私たちとメンバーやアシスタントとの会話を進めてくれました。それぞれがゆったりと、会話を楽しみながら、食事している様子がいいなあと思いました。

2つ目のテーブルの方は一言も発することなく、しかし、大きなテーブルの様子を気にしながら、同じペースで食事していました。おそらく大きなテーブルでは疲れてしまう方のための席だったのでしょう。何でも一緒に大きなテーブルではなく、必要に合わせてテーブルを用意し、一緒に同じ食事を進める姿にラルシュの知恵の1つを見ました。無理せず、しかし、誰も障害しないで共に食卓に着く。

それぞれの生活の中でも創意工夫をしながら共同生活を豊かにしたいと思いました。



事務所より

防災訓練を実施しました

愛実の会では毎年2回防災訓練を実施していますが、今回は6月に室内にて災害発生時の事業所対応についてのDVDを鑑賞し、防災意識を高める取り組みを行いました。

当日は名古屋市港消防署の職員の方にも監査を兼ねてお立会いいただき、事業所としてどのように防災に取り組んでいくべきかということについてもお聞きしました。

重度障がい者通所事業所という特殊な環境下であっても、一般企業と同様に災害発生時対応マニュアルが必要だと痛感しました。

対応事項の優先順位策定、事業所内だけでなく送迎や出先にいる者の対応、災害発生後の帰宅支援など多くの課題があります。

中でも、持病を持つメンバーのことを考えると、日常服薬しているお薬を常に持ち歩くことの必要性を強く感じています。

今後は避難だけでなく、災害発生後にどのように生き延びるかということも視野に入れ、対応を検討していきたいと思えます。

求人のお知らせ

私たちNPO法人愛実の会では、メンバー（利用者）の思いが活かされるケアの実践を目指しています。

メンバーの思いが活かされるためには、まずはメンバーの声をしっかりと受け止められる体制作りが必要だと考えています。

この度アシスタントに欠員が生じたので、正職員並びにパート職員の募集を行うこととなりました。

フレッシュなアシスタントのお力をお借りして、メンバー一人ひとりの思いが聞き取れるよう、マンツーマンケアの実践を行いたいと思っています。

愛実の会では、日勤のみ・完全週休2日制・年間休日125日・海外研修旅行の実施・マッサージ等セルフケアに関する助成・福利厚生センターへの加入…などを実施しています。

そうすることでアシスタント一人ひとりにも余裕が生まれ、より良いケアの実践に繋がるのではないかと考えています。

皆さんと共に働き、自分たちの思いも、メンバーたちの思いも、共に活かされる場創りを行いたいと思えます。

少しでも興味をもたれましたら、お気軽にお問い合わせください。

また、お知り合いに良い方がいらっしゃいましたらご紹介をお願いいたします。

【待遇】

- 初任給（一律手当含む）
□ 169,600円～176,000円
- 介護福祉士、社会福祉士等資格手当
- 処遇改善手当(上記初任給に含む)
- 住宅手当あり
- 賞与年3回(2015年度実績)
- 通勤手当実費支給

【福利厚生】

- 社会保険；健康保険、厚生年金、労災、雇用保険
- 社会福祉法人福利厚生センター加入
- セルフケア助成あり
(マッサージ等身体ケアに関する助成)

2015年度 NPO法人愛実の会 決算報告(活動計算書)

平成27年4月1日～平成28年3月31日

科 目	金 額		単 位:円
I 経常収益			
1. 正会員費	186,000	186,000	
2. 寄附金	4,104,388	4,104,388	
3. 事業収益			
1)生活介護事業収益	107,533,081		
生活介護事業	104,529,793		
食事収入	2,391,470		
就労支援事業収入	611,818		
2)居宅介護事業収益	3,415,720		
3)独自サービス事業収益	13,500	110,962,301	
5. その他収益			
受取利息	6,302		
雑収益	569,639	575,941	
経常収益計			115,828,630
II 経常費用			
1. 事業費			
(1)人件費	71,169,147		
(2)その他経費			
諸謝金	920,938		
印刷製本費	116,252		
会議費	129,924		
旅費交通費	2,958,343		
通信運搬費	332,452		
消耗品費	2,785,454		
水道光熱費	1,818,839		
賃借料	6,363,741		
減価償却費	4,507,173		
保険料	1,934,931		
保健衛生費	436,037		
リース料	2,126,606		
給食費	2,535,404		
教養娯楽費	1,013,253		
就労支援事業費	604,274		
その他事業費	6,309,570		
その他経費計	34,893,191	106,062,338	
事業費計			
2. 管理費			
(1)人件費	2,600,000		
(2)その他経費	836,613		
管理費計		3,436,613	
経常費用計			109,498,951
当期経常増減額			6,329,679
法人税、住民税及び事業税			789,800
当期正味財産増減額			5,539,879
前期繰越正味財産額			53,321,280
次期繰越正味財産額			58,861,159

2015年度 法人事業報告

愛実の会は当法人の理念にのっとり、重度の障がいのあるメンバーのサポートに力を入れて、彼らが安心して充実した地域生活を継続的に送ることが出来るよう、他の団体と協力しながらより良いサポートを目指し下記の事業に取り組んでいます。

・障がい者総合支援法（障がい者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律）に基づく障害福祉サービス事業

生活介護事業「障がい者デイセンター愛実」 & 居宅介護事業所あみ（ホームヘルプ）

・既存の法律の範囲で対応することが困難なケースとして、利用者の生活上必要なニーズ及び緊急時に対応する為の有料サービスとしての法人独自サービス事業

※2015年度＝9件の対応が有りました

生活介護では、定員20名（登録者30名）のメンバーが大地の家・紙風船の2部門に分かれてそれぞれの特色ある活動を楽しみながらこの1年も無事過ごすことが出来ました。詳細については随時、会報・ホームページ・ブログ等にて報告させていただきます。

居宅介護事業につきましては、慢性的なヘルパー不足のため、他事業所へのヘルプの移行が今年も数件見られました。普段の生活を維持継続できるよう相談支援事業所及び他事業所とも関係を密にしながら連携してきました。一方、緊急時の対応につきまして多くはありませんでしたが、年々ご家族の方の高齢化に伴い、安心できるサービスの一つとなっています。

★2015年度総会報告（正会員数49名：2016年4月1日現在）

議案Ⅰ 2015年度事業報告（決算及び監査報告）

①法人概況 ②生活介護（大地の家・紙風船）

③居宅介護 ④各管理部門（健康・給食・車両・防火防災・ホームページ・会報）

議案Ⅱ 2016年度事業計画及び予算案

※議案はすべて滞りなく審議され承認されました。

2015年度は、カーポートの設置（540万）のため多くの寄付金をいただきました。また予定していた求人が確保できなかったことから幸い黒字に転じています。その他移転改装のための借入金650万円を予定通り返済し、あと残り870万を2年での完済となります。

会計監査を受け右の通りご報告させていただきました。



大地の家のページ

(P5~7)



母の日企画

今年の母の日は「ルームスプレー」作りをしました。
ルームスプレーに使う材料は、純水、エタノール、アロマオイルです。メンバーたちには好きな香りのアロマを選んでもらい、紙コップに材料を入れて割り箸で混ぜ合わせました。

アロマと一言で言ってもいろんな種類があり、たとえばラベンダーは安眠を促し、ユーカリには集中力を得られるといった効果があります。一つ一つの香り確かめながら、自分の好きなアロマを選びました。好きな香りにニコニコ笑ったり、苦手なものには顔をしかめたりとメンバーの反応は様々です。

「どこの部屋に使うのかな?」「喜んでくれるかな?」なんてメンバーとアシスタントで話をしながら世界に一つだけのルームスプレーの完成!

完成したルームスプレーをボトルに入れて可愛くラッピングをしました。容器にシールを張ったり、メンバーの顔写真のついたメッセージカードを添えて・・・。

シュッとひと吹きすれば、部屋にアロマの香りが広がります。雨の続く日や、リフレッシュしたいときなどにお使いください♪





父の日企画



父の日は、日頃の感謝を込めたオリジナルマグカップ作りをしました。
今回の企画は、忙しい朝や休日など、いろんな場面で使えるように実用性のあるマグカップです♪

陶器専用のペンで、文字や絵を描いていきます。メンバー達が描きやすいように、シルクハットやネクタイなど、父の日にちなんだイラストなどの型を事前に用意しました。中でもメンバー達に人気のあったイラストは、ちょびヒゲの少し変わったイラストでした。イラストや文字の型をコップに固定して、ペンで色を付けていきます。

「この色を使いたいな」「こんな絵が描きたいな」

メンバーとアシスタントで相談しながら、コップのレイアウトを決めていきます。ペンを持つメンバーの姿は真剣そのもの。うんうん考えながら、自分の納得のいくまでカップ作りに全力を注いでいるメンバーも少なくありませんでした。普段はなかなか言う機会の少ない感謝の気持ちを、マグカップを通して伝えているようでした。

思い思いに絵や文字を入れたカップを、オーブンで温めてペンの色を定着させればついに完成！カラフルなものから、シンプル、かわいい感じのものまで、メンバーひとりひとりの個性の出た作品に仕上がりました。

持ち帰りの際に割れないようにクッション材をカップに巻き付けましたが、無事に届いたでしょうか？お茶やコーヒーを入れて一服をどうぞ(*^_^*)





5月9日(月)、静岡県掛川市にある、掛川花鳥園に行ってきました。花鳥園は屋外と屋内の両方に大きな施設があり、当日はあいにくの雨だったのですが、十分楽しく過ごすことができました。掛川花鳥園は「花と鳥とのふれあい」を主にしたテーマパークです。

園内に入ってまず歓迎してくれたのはフクロウ達でした。たくさんの種類がいて、中にはテレビで大活躍中のフクロウもいました。メンバーやアシスタントが近づいてもとても大人しく、まるでぬいぐるみのように動きませんでした。間近でじっとしているフクロウ達を、メンバーもどこか不思議そうな顔で見っていました。

フクロウだけでなく、巨大な温室の中には睡蓮の葉や花が浮かぶ巨大なプールがあり、その上を鳥達は自由自在に飛び回っていました。

鮮やかな真っ黄色の身体が目印のコガネメキシコインコや大きなクチバシを持つオオハシなどの南国に生息している鳥や、フラミンゴやシギといった水辺に住む鳥も檻や柵に阻まれることなく温室内を飛んだり歩き回っています。

入園チケットの半券で、鳥にエサをあげることができました。ごはんを求めて腕や頭に乘ってくる鳥達にびっくりしたようで、少し顔が引きつったメンバーもいましたが、時間が経てば自由気ままな鳥の様子に心をひらいたようでした。自分から手を伸ばして触ろうとしたら、突然肩にとまっても驚くことなくニコニコと笑顔を見せてくれました。

花鳥園に行く前は「メンバー達は鳥が怖くないかな？」と心配もありましたが、実際に行ってみればメンバーの半分以上が最初から鳥に臆することなくふれあっていました。自分の目線よりもはるかに高いフラミンゴなどにも平気でエサをあげるメンバーを見て、アシスタントよりも度胸があるんじゃないか?と思ったお出掛けでした。



日々の活動の様子など随時更新中です♪
大地の家のブログ <http://ameblo.jp/daichi-no-ie/>

イエローレシート キャンペーン

全国のイオンで行っている幸せの黄色いレシートキャンペーン（通称イエローレシートキャンペーン）に愛実の会のそれぞれの部署が参加しています。

毎月11日のイオンのレシートは黄色になります。この黄色いレシートを集めるとレシートの合計金額の1%と同額の品物をイオンから寄贈されます。

それは普段のデイで使う物品などになり、より良いデイであるために大切な活動です。

メンバー&アシスタントともに頑張っレシート集めに励んでいます。

これからも応援とご協力をお願いします！

【大地の家】



【紙風船】



2部署が、それぞれ担当のイオンで活動中

紙風船のページ (P9~11)

紙風船の活動も波に乗りだしました。公演やレク、そして20周年記念イベントに向けてメンバーも頑張っています。今年もまた暑い夏がやって来ます。日々の体調管理には充分気をつけながら過ごしていきたいものです。今回は5月・6月のお出かけを中心に報告したいと思います。

☆今年度も小グループで出かけることになったレクリエーション。
5月は2グループが楽しむことができました！

うわさの水族館へ！



5月18日 (水)



竹島水族館

紙風船今年度初めてのレク外出は、蒲郡にある竹島水族館見学でした。この竹島水族館設備はかなり昭和の雰囲気ですが、常時500種類前後の水生物が展示されています。地元の漁師さんの協力で珍しい深海の生物が次々と届けられるのだそうです。



手づくりの解説！

職員さん手作りの解説もかわいらしく丁寧！カニやヒトデ、グソクムシなど直接手で触れることのできるコーナーもありメンバーはおそろおそろ触って感触を確かめていました。どこか懐かしく親しみを感じることでできる水族館を満喫してきました！

ドキドキ！



スター気分☆☆

5月19日 (木)



ホンモノそっくり(*_*)

犬山方面へのレク組には1つの目的がありました。音楽サークルに所属するメンバー2人で結成したバンド「MK!=モンキー」のプロモーションビデオ撮影です！

2人は、吉本の若手芸人さんが引いてくれる人力車に乗って犬山城下町を散策！モンキーセンターでかわいいおサルさんとふれあったり桃太郎神社ではレトロな雰囲気の人形と一緒にパチリ！デイでは楽しいお土産話をたくさんしてくれました。



鬼退治～！



ワオキツネザル！

☆プロモを観たい方はこちらへ「YouTube人形劇団紙風船」で検索！！

・吉本芸人
三ツ星ジョージさんと



ウェルフェア2016 inポートメッセなごや



ラクラク移動できますね♪♪

6月2日(木)「ウェルフェア2016」に木曜メンバーで参加してきました。

ウェルフェアは福祉分野の施設や道具、車イスや車両などが紹介され実際に見たり触れたり体験もできるイベントです。ワークショップやセミナーなども開かれて毎年大変にぎわいます。会場では、こんなものがあったら便利でもっと快適に生活できるだろうなあと思えるものが沢山紹介されていました。またカラオケやパチンコゲーム、楽器紹介などのブースもあり、メンバーはグループに分かれて会場を散策しながら、思い思いの時間を過ごしました。中でも、車イスのまま乗車できる車にはどのメンバーも大きな関心があったようです！

ウェルフェア参加は紙風船では例年の行事になってきています。来年度もまた参加したいと思います。



集中力と運だめし！！

歩行アシスト用具



カミナリの音が出る
楽器です♪



公演依頼を募集しています！
興味を持たれた方は是非ご連絡ください♪



☆1公演3万円～(ご相談に応じます)

各地域のイベント(バザー・夏祭り・クリスマス会など)、学校での文化祭や福祉教育など目的に合わせたプログラムを組むことができます。

紙風船では、お子様から大人の方までみなさんとふれあい、夢と希望と笑顔がいっぱいつまった人形劇を目指しています。

☆ホームページ、ブログ、フェイスブック、ツイッターも随時更新しています

<facebook> <https://www.facebook.com/ami.kamifuusen>

<twitter> <https://twitter.com/kamifuusen>

<website> <http://amikamifuusen.wix.com/kamifuusen> ぜひご覧ください！

【公演だより】

- 第209回3月21日(月・祝) 鳥羽公演～障害者と就労について考える～『ポーちゃん』
第210回5月22日(日) 愛知聖ルカ教会オープンハウス『かめさんのありがとう』
第211回6月4日(土) 日本福音ルーテル復活教会バザーにて『かめさんのありがとう』
第212回6月23日(木) さくらそうボランティア公演 『ミニポーちゃん』

PICK UP!

5月22日(日) 愛知聖ルカ教会「オープンハウス」公演





新年度に入って初めての公演は少し遠出。尾張旭市にある愛知聖ルカ教会の「オープンハウス」というイベントに招待されたのです。演目は『かめさんのありがとう』。友情・「共走」をテーマにした心温まるお話です。今回、ライオンのしし丸役に初めてチャレンジするメンバーがいました。また4月からはアシスタントの入れ替わりもあり、新体制としての初公演！みんな短い期間の稽古に集中して取り組んでできました。

教会の方々には打ち合わせ段階から公演当日に至るまで大変親切にしてください、観客の皆さんも興味を持って観てくださいました。メンバーはそんな温かい雰囲気の中で練習の成果を充分発揮することができました。役者以外のメンバーも音響やあいさつなどそれぞれの役割を果たしてくれました。紙風船の想いを届けられた公演になったと思います。

今年度もまだまだ公演は続きます。皆さま応援よろしくお祈りします！！



【公演予定】

- 2016年7月20日(水) 東郷町社会福祉協議会主催 『ポンタとたっくん』 
2016年7月24日(日) 紙風船20周年感謝祭 『スペシャルポーちゃん』 
2016年10月10日(月・祝) こどもアートフェスティバル 『ポンタとたっくん』
2016年11月26日(土) 北名古屋パペットフェスタ 『ポンタとたっくん』

2017年3月26日(日)20周年記念チャリティー公演～熊本地震復興のために～を開催します！

紙風船では今から義援金の募金箱を設置して来年3月まで皆様にご支援を呼びかけていきます。どうぞご協力をお願いいたします！

吉男の出番

南 寿樹

高等部2年生の野外活動の1日目は、あいにくの雨だった。

計画では、雨天時は屋内でのレクリエーション活動だった。だが、小雨だったこともあり、屋外でのカレー作りを決行した。宿舎から炊さん場まで約300メートル。体力のある知的しょうがい生徒10名（大府特別支援学校高等部は、病弱クラスと知的しょうがいクラスがある）は、雨を嫌がることなく、むしろ楽しそうに歩いていく。事前の調理実習で作ったカレーがおいしかったことが自信になっているのかもしれない。

（さあ、始めようか）というとき、雨音も激しい本降りになる。「昨年と同じような雨で、1時間以上薪に火がつかなくて時間がなくなってしまった」2年連続で担当する鳥居先生が、生徒にプレッシャーをかける。屋根のある、円形の炊さん場では、遭難した仲間のような連帯感が生まれる。ほとんどの生徒が、何をしたらいいのか分からず声がかかるのを待っている中で、吉男が生き生きと輝き出した。「おい貴美子、俺はジャガイモの皮をむくから、タマネギ頼む」「毅、エンジンを切るのをやってくれん？」「先生、俺、次は火起こしやりたい」…（えっ？いつもの吉男とは別人だ）

吉男はふだん、シャツの胸元をはだけ、幅の広いズボンのポケットに手を突っ込んで歩く。体育ではよく仮病で見学し、参加したとしてもけだるそうにしている。それでも振り返りカード（授業の反省）は真っ先に記入し提出する。いわゆるツツパリにあこがれるものの、そこまでの自信がなく、中途半端に自己主張するタイプだ。

つい先日、病弱クラスの美紀が「前の学校では体育は全部見学で、いじめもあったからほとんど行かなかった。私この学校に入って本当に良かった」と言う。それを聞きながらも、吉男は「俺は、この学校に来てよかったなんて一度も思ったことない。楽しいことなんかひとつもない」と返した。それでも、その場がしらけなかったのは、吉男が笑っていることと、みんなが「でも吉男は、バンド活動のベース演奏に誇りを持ち、生き生きと活動している」ことを知っているからだ。

その吉男がカレーづくりで、誰よりも張り切り、リーダーシップをとっている。吉男の心の芯のところに、「誰かの役に立ちたい」という熱い思いがあるようだ。でも、ふだんの学校生活（受け身的な授業、やらされる作業など）では、その情熱を出す場面がなく、くすぶっているのではないか。出番を作ることの大切さを思い知る。

火起こしの途中、ダウン症の理恵子が、「私もやりたい」と割り込んでくる。吉男は場所をつくり、うちわで一緒にあおぐ。頑固な理恵子は、教師の指示は聞かないが、吉男の言うことは聞く。（自分も人の役に立ちたい）という理恵子の気持ちを吉男が受け止めるのかもしれない。「もう火は十分についたから、あおがなくてもいいよ」と言う私に、「大丈夫」「大丈夫」と二人は懸命にあおぎ続ける。その姿が微笑ましい。

——「まっ、焦げるのもいい勉強か…」と私は見守っていた。





古賀敦子&ゲオルギー・ロマコフ
Duo concert

デュオコンサート

ドイツ本場からの響で癒しの時を



J.S.バッハ: 組曲へ短調 BWV 997
徳山美奈子: ある蝶の一生〜チョウチョより〜
モーツァルト: アダージョ KV423
A.ヒナステラ: 二重奏曲
A.ハチャトゥリアン: 無伴奏チェロ・幻想ソナタ
M.ラヴェル: ソナタ 他

プログラムには変更も有り得ます

2016年8月26日(金)18時開場 18時半開演

名古屋YWCAホール

名古屋市中区新栄町 2-3 地下鉄「栄」東5番出口より東へ2分

主催: 愛実の会・名古屋ダルクチャリティー 後援: みどりファミリー

お申し込み: 090-1754-0104(島)または愛実の会 Tel.052-693-5897

メールでのお申し込み: info@aminokai.com 入場料 1500円

【NPO愛実の会 寄付者名 (順不同・敬称略) 2015年3月1日～6月30日】

★寄付金

山崎 真由美	朽久保 滢子	溝口 キミ子	土屋 美恵子	立嶋 トシ子
安藤 真知子	森田 猛	小田 泉		
森山 昭雄	大淵 哲也	有村 典子	武井 陽一	脇田 純子
加藤 和子	水野 享好	阿部 健二	中谷 塩子	山崎 京子
宮崎 正和	村上 貴久・裕子			島 しづ子 (複数回)

愛知教会女性の会	西尾教会婦人会	東海教会	金城教会社会福祉委員会
学校法人金城学院	刈谷教会CS	栄冠幼稚園	半田教会奥田バザー

★紙風船夢づくり

水谷 譲	富田 耀	森永 富貴子	戸田 真二	中森 由哉 (複数回)
------	------	--------	-------	-------------

ご協力ありがとうございました。

寄付のお願い

年間目標額 320万円

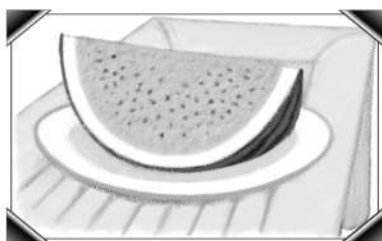
- * 人形劇団 紙風船の活動のため (20万円)
- * 愛実の会の活動のため
- * 移転に伴う借入金返済のため (870万円 2017年度完済予定)

振込書を同封いたしました。愛実の会のため、ご寄付をお願いいたします。紙風船への寄付は、通信欄に「紙風船のために」など書き添えていただきますよう、お願いいたします。

【任意団体「障がい者・友だちの会・愛実」寄付者名 (順不同・敬称略)】

山崎 京子	早川 俊一	大藪 礼子	野崎 弘一・典子	吉谷 尚之 (複数回)
名古屋桜山教会シャロンの会	中森 由哉 (複数回)	匿名氏		
みどりファミリー喫茶				

ご協力ありがとうございました。



職員異動



【新人・正職アシスタント】

□福地 愛

4月から紙風船の正職員となりました福地 愛です。メンバーの小さな発信にも気付いていくことを目標にしています。

メンバーとアシスタントの中でも最年少ですので、ご迷惑をかけることもあると思いますが、明るく元気に頑張りたいです！

これからもよろしく願いいたします。

【新人・パートアシスタント】

□李斗熙（イ ドウヒ）

はじめまして。4月から働くようになった李斗熙と申します。いろいろ足りないこともたくさんありますが、教えていただきながら、皆さんが安心して楽しく過ごせるようにがんばっていきたいと思います。

よろしく願いします。



【退職・パートアシスタント】

□佐藤 慧

愛実の会で本当にたくさんの方のことを学ばせて頂きました。皆さん親切にしてくださって、実りの多い8年間でした。

ありがとうございました。

【所在地・連絡先】

特定非営利活動（NPO）法人 愛実の会

- 居宅介護事業所あみ（ホームヘルプ）
- 障がい者デイセンター愛実（生活介護）

〒455-0021 名古屋市港区木場町9番24

TEL：052-693-5897 FAX：052-691-7889

E-mail info@aminokai.com

ホームページ http://www.aminokai.com

【「NPO愛実の会」寄付金のお願い】

郵便振替 □座番号 00850-6-187490

□座名称 特定非営利活動法人 愛実の会

1□1,000円 何□でも結構です

◆ 寄付金（賛助会費・土地建物取得費用・その他NPO愛実の会の活動に関する費用）

◆ 紙風船夢づくり（人形制作費、公演活動に関する費用とする）